



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月30日

上場会社名 アツギ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日光 信二  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 古川 雅啓 TEL 046-235-8107  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	15,879	0.5	△595	—	△47	—	793	△35.6
2024年3月期第3四半期	15,794	6.4	△342	—	△29	—	1,231	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 657百万円 (△61.4%) 2024年3月期第3四半期 1,701百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	49.52	—
2024年3月期第3四半期	76.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	44,569	34,096	76.5
2024年3月期	42,014	33,441	79.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 34,096百万円 2024年3月期 33,441百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,200	4.7	△400	—	150	—	1,300	△2.4	81.15

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) -

除外 2社 (社名) 煙台厚木針織有限公司、厚木靴下(煙台)有限公司

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	17,319,568株	2024年3月期	17,319,568株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,301,292株	2024年3月期	1,299,322株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	16,019,199株	2024年3月期3Q	16,022,263株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(企業結合等関係) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化や、所得環境の改善等により、緩やかな回復の動きが見られました。その一方で、不安定な国際情勢や、外国為替相場の円安基調等による資源・エネルギー価格の高騰、これらを背景とした物価上昇等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、インバウンド需要に支えられ、市況は堅調に推移しているものの、物価上昇の長期化による消費者の生活防衛意識や節約志向は根強く、予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、2023年3月期から2025年3月期までを実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』を改訂いたしました。改訂後の計画では、「顧客視点に立脚した価値創りへのシフト」、「ブランド力強化による市場ポジションの明確化」、「企業風土改革による強い組織力の実現」、「従前発想から脱却したビジネスモデルの実現」の4つの新たな課題を掲げて、それぞれの課題に対する戦略を推進しております。あわせて、企業ブランド強化策の一環として、「肌と心がよろこぶ、今と未来へ。」をパーパスに、「肌心地から、感動を生み出す フィールウェアのアツギへ。」をビジョンに制定し、グループ一丸となってこれらを実現するための取り組みを進めております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、重点取組項目であるD2C (Direct to Consumer) での販売は、顧客目線での商品企画・開発を行った新たなアイテムの展開や、オペレーション体制の強化により、自社オンラインショップ及びECモールでの売上が順調に推移いたしました。しかしながら、記録的な猛暑により秋冬商品の導入が遅れ、10月以降の残暑の影響で売上の遅れを取り戻すことができず、営業損益につきましては、売上高の減少による減益、販売量の減少による工場稼働率の低下で製造原価が上昇したこと等により厳しい状況で推移いたしました。また、改訂後の『ATSUGI VISION 2024』において掲げた政策保有株式の縮減方針に則り、政策保有株式の売却を進めたことによる投資有価証券売却益877百万円及び投資有価証券売却損3百万円を特別利益及び特別損失に計上いたしました。なお、中国の既存工場の移転を目的として設立していた当社100%出資子会社である煙台阿姿誼靴下有限公司につきましては、11月に新工場が竣工し、12月に稼働を開始いたしました。新工場は、最新の自動立体倉庫を備え、今後も順次、様々な自動化設備の導入を予定しており、更なる生産性の向上が図れるものと見込んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,879百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業損失は595百万円（前年同四半期は342百万円の損失）、経常損失は47百万円（前年同四半期は29百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は793百万円（前年同四半期比35.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### [繊維事業]

レッグウェア分野は、記録的な猛暑により秋冬商品の導入が遅れ、10月以降の残暑の影響でその遅れを取り戻すことができず、同分野の売上高は8,635百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

インナーウェア分野では、D2C (Direct to Consumer) での販売が好調で、ブラジャーや婦人肌着が順調に推移し、同分野の売上高は6,321百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

これらの結果、当事業の売上高は14,956百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業損失は940百万円（前年同四半期は636百万円の損失）となりました。

#### [不動産事業]

保有資産の有効活用を進めており、2024年10月より神奈川県海老名市に所有する土地の賃貸を開始したこと等により、当事業の売上高は459百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は349百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

#### [その他]

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は堅調に推移いたしました。認知症高齢者向け介護施設であるグループホームも堅調に推移しましたが、介護用品の販売は苦戦しました。これらの結果、当事業の売上高は463百万円（前年同四半期比1.3%減）、営業利益は60百万円（前年同四半期比34.3%増）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は44,569百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,555百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の減少937百万円の他、当第3四半期連結会計期間において、煙台阿姿誼靴下有限公司の新工場が竣工し、稼働を開始したこと等による建物及び構築物の増加2,095百万円、機械装置及び運搬具の増加1,801百万円、建設仮勘定の減少427百万円等によるものであります。

負債の部は10,473百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,900百万円増加しました。これは主に、流動負債のその他の増加2,062百万円、短期借入金の増加650百万円、長期借入金の減少352百万円、繰延税金負債の減少306百万円、支払手形及び買掛金の減少99百万円等によるものであります。

純資産の部は34,096百万円となり、前連結会計年度末に比べ655百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加793百万円、その他の包括利益累計額の減少136百万円等によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は76.5%（前連結会計年度末は79.6%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の動向等を勘案し、2024年5月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正および役員報酬減額の継続に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,870	4,256
受取手形及び売掛金	4,185	3,846
商品及び製品	5,010	5,193
仕掛品	1,072	950
原材料及び貯蔵品	652	518
その他	2,220	2,399
貸倒引当金	△26	△24
流動資産合計	16,983	17,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,639	3,734
機械装置及び運搬具（純額）	1,905	3,706
土地	11,982	11,982
建設仮勘定	1,216	788
その他（純額）	72	137
有形固定資産合計	16,815	20,349
無形固定資産	1,669	1,694
投資その他の資産		
投資有価証券	6,076	5,138
繰延税金資産	25	8
その他	443	236
投資その他の資産合計	6,544	5,384
固定資産合計	25,030	27,429
資産合計	42,014	44,569

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,434	1,334
短期借入金	—	650
1年内返済予定の長期借入金	470	470
未払法人税等	135	65
賞与引当金	44	29
その他	2,020	4,083
流動負債合計	4,104	6,632
固定負債		
長期借入金	439	86
繰延税金負債	1,578	1,271
再評価に係る繰延税金負債	1,286	1,286
退職給付に係る負債	894	867
その他	270	328
固定負債合計	4,468	3,840
負債合計	8,572	10,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	10,272	10,272
利益剰余金	△734	58
自己株式	△1,468	△1,469
株主資本合計	28,069	28,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,172	2,027
繰延ヘッジ損益	785	481
土地再評価差額金	388	388
為替換算調整勘定	2,025	2,337
その他の包括利益累計額合計	5,371	5,235
純資産合計	33,441	34,096
負債純資産合計	42,014	44,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	15,794	15,879
売上原価	10,744	10,765
売上総利益	5,049	5,114
販売費及び一般管理費	5,392	5,709
営業損失(△)	△342	△595
営業外収益		
受取利息及び配当金	174	147
為替差益	71	345
リース解約益	—	63
その他	80	39
営業外収益合計	326	596
営業外費用		
支払利息	6	20
租税公課	0	16
その他	6	10
営業外費用合計	13	47
経常損失(△)	△29	△47
特別利益		
固定資産売却益	1,270	6
投資有価証券売却益	558	877
特別利益合計	1,829	883
特別損失		
盗難損失	18	—
固定資産除却損	1	43
固定資産売却損	10	—
投資有価証券売却損	—	3
特別損失合計	31	46
税金等調整前四半期純利益	1,768	790
法人税、住民税及び事業税	411	116
法人税等調整額	125	△120
法人税等合計	537	△3
四半期純利益	1,231	793
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,231	793



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,231	793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△144
繰延ヘッジ損益	335	△303
為替換算調整勘定	157	311
その他の包括利益合計	470	△136
四半期包括利益	1,701	657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,701	657

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった煙台厚木針織有限公司、厚木靴下(煙台)有限公司は、当社の連結子会社である煙台阿姿誼靴下有限公司を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レグウェア	8,628	—	8,628	—	8,628	—	8,628
インナーウェア	6,257	—	6,257	—	6,257	—	6,257
その他	—	21	21	469	490	—	490
顧客との契約から生じる収益	14,885	21	14,906	469	15,375	—	15,375
その他の収益	—	419	419	—	419	—	419
外部顧客への売上高	14,885	440	15,325	469	15,794	—	15,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	14,885	440	15,325	469	15,794	△0	15,794
セグメント利益又は損失(△)	△636	314	△322	45	△277	△65	△342

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営及び太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レグウェア	8,635	—	8,635	—	8,635	—	8,635
インナーウェア	6,321	—	6,321	—	6,321	—	6,321
その他	—	—	—	463	463	—	463
顧客との契約から生じる収益	14,956	—	14,956	463	15,419	—	15,419
その他の収益	—	459	459	—	459	—	459
外部顧客への売上高	14,956	459	15,416	463	15,879	—	15,879
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	14,956	459	15,416	463	15,879	—	15,879
セグメント利益又は損失(△)	△940	349	△591	60	△531	△64	△595

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営及び太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	319百万円	442百万円

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

連結子会社間の吸収合併

当社は2024年7月29日開催の取締役会において、当社の連結子会社である煙台阿姿誼靴下有限公司を吸収合併存続会社とし、煙台厚木針織有限公司、厚木靴下（煙台）有限公司を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、2024年8月13日付で当該三社間において合併契約を締結し、2024年10月1日付で以下のとおり吸収合併を行いました。

## 1. 取引の概要

### (1) 結合当事会社の名称及び事業の内容

結合企業の名称	煙台阿姿誼靴下有限公司
事業の内容	レッグウェアの製造販売
被結合企業の名称	煙台厚木針織有限公司
事業の内容	レッグウェアの製造販売
被結合企業の名称	厚木靴下（煙台）有限公司
事業の内容	レッグウェアの製造販売

### (2) 企業結合日

2024年10月1日

### (3) 企業結合の法的形式

煙台阿姿誼靴下有限公司を吸収合併存続会社とし、煙台厚木針織有限公司、厚木靴下（煙台）有限公司を吸収合併消滅会社とする吸収合併

### (4) 結合後企業の名称

煙台阿姿誼靴下有限公司

### (5) その他取引の概要に関する事項

煙台厚木針織有限公司については、近年はその所在地域の都市化や商業用地化が進んでおり、将来的な同地域の開発計画等を見据えた場合、工業用地としての利用継続が困難な状況となる等、今後の事業計画が課題となっており、煙台市経済技術開発区政府との間で工場移転に関する協議を行い、煙台阿姿誼靴下有限公司を設立し、煙台厚木針織有限公司を吸収合併することとしておりました。

煙台地区で、煙台厚木針織有限公司と厚木靴下（煙台）有限公司の二社体制で生産を行っておりましたが、更なる生産体制の効率化を図るために、厚木靴下（煙台）有限公司も吸収合併し、生産会社三社合併による一社化により、生産体制の効率化及び製造原価の低減を目的としております。

## 2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。